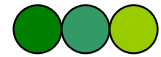


新生児の聴力検査 (ABR)



当院では赤ちゃんの聴力検査を実施しています



赤ちゃんの寝ている間に、
ヘッドフォンを当てて音を出し、
反応をみます。

生まれたばかりの赤ちゃんに、聴力検査が必要なのはなぜ？

□ 言葉の発達には聴力が必要です

言葉を習得し知識を発達させるためには、聴力がとても重要です。
音の刺激を繰り返し受けることによって、脳が学習・発達し、言葉の意味を理解できるようになります。

□ 聴覚障害を早期に発見できます

□ 早期に治療・訓練を開始できます

聴覚に障害がある場合でも、発見が早いほど、適切な治療や訓練によって聴力や言葉の発達を促し、他の赤ちゃんと同じように成長することができます。

聴覚検査方法には、聴性脳幹反応 (ABR) と耳音響放射 (OAE) という2種類の検査があります。

OAE では内耳機能の異常しか調べられないのに対し、ABR では内耳から脳幹までの聴覚経路全般について調べられるため、当院では ABR を実施しています。

結果が、【パス pass】の場合は検査による反応が得られたということであり、検査時では正常の聴力があると考えます。

【要再検 refer/fail】の場合は、直ちに聴覚障害があるということの意味するものではなく、聴覚障害の診断は精密検査によっておこなわれます。正常児でも、中耳に羊水が残っていたり耳垢があるなどの理由でスクリーニング検査時には反応が得られない事もあるので、日にちを改めて検査することもあります。